

# 橋の健康診断やってます！ ～橋梁点検の所内研修を実施しました～

発信元  
大隅河川国道事務所  
道路管理課

老齢化が進む橋梁を適切に点検、補修していくことは非常に重要なことであり、橋梁やトンネル等の施設は5年に1度、定期点検を行うことが義務付けられています。

これまでは何か問題が起きてから大きなお金をかけて対策をとってききましたが、この点検によって損傷や変状を早期に発見できるので補修にかかるコストも抑えることが可能になり、**橋梁の長寿命化（橋梁をできる限り長く使い続けること）ができます。**

しかしながら、この点検は近接目視点検（出来る限り近づいて目で見て判断する点検方法）が基本であり、担当者の知識と能力が求められます。

そこで今回（平成27年6月2日）、所内の職員を対象として、技術力向上のために現場研修を実施しました。研修では実際に橋梁点検車に乗り、橋梁を点検する上で注意すべき点を確認しながら、近接目視について研修しました。



橋梁点検車

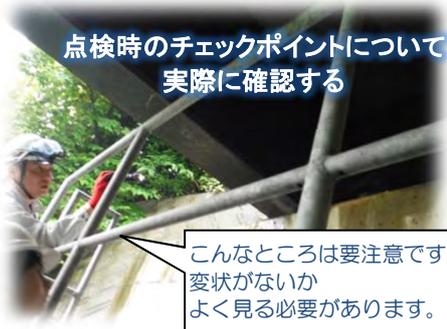


アームはこんなに長い！



橋梁点検車のバケットは上から降ろします

このバケットに乗って点検を行います。



点検時のチェックポイントについて実際に確認する

こんなところは要注意です。変状がないかよく見る必要があります。



この部材、サビついています。耐候性鋼材という素材の保護性サビです。わざとサビつかせる被膜を作り、中の部材を保護しています。



耐候性鋼材の保護性サビ

見た目はサビしていますが、中身は健全なんです！



ひび割れ発見！？

ヒビが入っていますが・・・実は補修済み！注射器のような器具で隙間を充填して守っています。



橋の弱点部分（道路の下部の両端）

部材の端は湿気等の影響を受けやすい。耐候性鋼材でサビに強いとは言っても、補修して塗装を加えています。



橋梁点検において重要なポイントを理解し、今後の業務に役立てましょう！

なお、事務所管内の橋梁やトンネルも同様に、サイクルを決めて点検を行っています。点検の際には通行規制等で皆様へご迷惑をおかけしておりますが、日頃よりご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。これからも皆様の安心・安全のために取り組んで参りますので、今後ともよろしくお願いたします。